

日本の祭り



はるか昔から、その土地に根付く歴史や伝統、文化や想いを形にした「日本の祭り」。
日本古来より伝承された芸術と技能を感じに行こう。

さあ、出かけよう！
伝統と心を繋ぐ祭りへ

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogeino.or.jp>

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



日本の魂をつなぐ、祭りと伝統芸能 歴史と伝統の継承。

地域伝統芸能賞受賞祭事を中心に選出しています

実施日 隔年(西暦偶数年)4月上旬
次回開催は平成30年4月上旬



島根県 隠岐の島町
布施の山祭り

実施日 毎年2月第2土曜日
今年は2月11日(土)



三重県 伊勢市
高向の御頭神事

実施日 毎年3月14・15日に近い土・日曜日
今年は3月11日(土)・12日(日)



滋賀県 近江八幡市
近江八幡左義長まつり

実施日 毎年4月29日
今年は4月29日(土・祝)



栃木県 那須塩原市
百村の百堂念仏舞

実施日 隔年5月4日
今年は5月4日(木・祝)



福島県 二本松市
小浜長折の三匹獅子舞

8 4月 古川祭 P5

9 4月 布施の山祭り P5

4 3月 米占祭 P4

1 2月 高向の御頭神事 P3

3 3月 近江八幡左義長まつり P3

7 4月 糸魚川・能生の舞楽 P5

10 5月 小浜長折の三匹獅子舞 P6

5 4月 百村の百堂念仏舞 P4

6 4月 鷲宮催馬楽神楽 P4

2 3月 湯立獅子舞 P3



目次

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 P1・P2
- ① 高向の御頭神事 P3
- ② 湯立獅子舞 P3
- ③ 近江八幡左義長まつり P3
- ④ 米占祭 P4
- ⑤ 百村の百堂念仏舞 P4
- ⑥ 鷲宮催馬楽神楽 P4
- ⑦ 糸魚川・能生の舞楽 P5
- ⑧ 古川祭 P5
- ⑨ 布施の山祭り P5
- ⑩ 小浜長折の三匹獅子舞 P6
- 地域伝統芸能活用センターよりお知らせ P6

三重県 伊勢市

たかぶく おかしら しんじ

高向の御頭神事

三重県 伊勢市

実施日 毎年2月第2土曜日
今年は2月11日(土)



800年以上の歴史がある、古式ゆかしい神事

「御頭神事」の起源は、養和年間(1181~82年)全国的な天候凶変や悪疫が流行る中、お祓い清めの踊りを舞い悪霊を祓い去ったことであると伝えられています。神事では、早朝より大社(カミ)さん、鑓(カブラ)さんの2体の御頭が大社・会所・禊屋(とうや)宅にて「七起しの舞」を舞い、高向大社や各家々を一軒ずつ巡る「フクメモノ」を行いながら無病息災を祈願し、斬祓祭場で集めた邪気を祓い神に戻るという行事です。打祭(うちまつり)と呼ばれる夜の祭典では、松明の火の粉が舞い落ちる中、御頭を勇壮に打ち振るう御頭揚げや、斬祓の舞いなどが行われます。800年以上の歴史を秘めた伝統ある行事で、昭和52年に国指定重要無形民俗文化財に指定されています。

アクセス

電 車：近鉄山田線「宮町駅」より徒歩約16分
車：伊勢自動車道「伊勢IC」より車約11分

伊勢市ホームページ
<http://www.city.ise.mie.jp/10635.htm>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

神奈川県 箱根町

ゆだて ししまい

湯立獅子舞

神奈川県 箱根町

実施日 毎年3月27日(仙石原)、7月15日(宮城野)
今年は3月27日(月)(仙石原)、7月15日(土)(宮城野)

滋賀県 近江八幡市

おうみはちまんさぎちよう

近江八幡左義長まつり

滋賀県 近江八幡市

実施日 毎年3月14・15日に近い土・日曜日
今年は3月11日(土)・12日(日)

獅子が湯立を行う、全国でも稀な神事芸能

箱根では仙石原諏訪神社と宮城野諏訪神社の2か所に伝わる民俗行事です。両地区に伝えられる獅子舞は獅子が湯立ての行を行う大変珍しい獅子舞で、江戸時代から続く伝統の舞が笛や太鼓などのお囃子とともに奉納されます。1974年に国選択記録無形民俗文化財に選択、1976年に神奈川県無形民俗文化財に指定されています。舞は平舞、宮舞、剣の舞、行の舞で、この後湯立作法となります。獅子が煮えたぎる湯釜の前に立ち、幣を入れて湯釜を清めます。剣印して湯釜を祓ったら湯篋を湯に入れ3度かき回し、神に献じた後、氏子や参拝者の頭上にも振りかけます。この湯をかけてもらうとその年は病気をしないとされています。無病息災・家内安全・五穀豊穡を祈願する行事です。

毎年多くの観光客が訪れる火祭りの行事

近江八幡の左義長まつり(国選択無形民俗文化財)は湖国(滋賀)に春の訪れを告げるお祭りで、織田信長も盛大に行い、自ら華美な衣装で躍り出たと伝えられています。左義長の中心に据え付けられた「ダシ」はその年の干支にちなんだものを、黒豆、小豆、胡麻、昆布、すめ、鰹節等の食材を素材にして、約2~3ヶ月の時間を費やして地域の人々によって作り上げられています。土曜の午後、藁や杉などで作った高さ6mの左義長10数基が神社を出発します。揃いの踊り半纏を着て化粧した若者が、拍子木を持って赤い下駄を履いて「チョウヤレ」の掛け声も勇ましく、町内を御渡りします。翌日の日曜は、朝から各町内を練り歩き、午後には「けんか」と呼ばれる左義長同士のぶつかり合いが繰り広げられます。午後8時頃から境内で順次奉火され、2日間にわたる祭のクライマックスを迎えます。



アクセス

仙石原・諏訪神社…電車：箱根登山鉄道鉄道線「箱根湯本駅」より箱根登山バス桃源台行で約25分「仙石」下車、徒歩約5分
宮城野・諏訪神社…電車：箱根登山鉄道鉄道線「箱根湯本駅」より箱根登山バス桃源台行で約15分「宮城野」下車、徒歩約10分

アクセス

電 車：JR西日本・近江鉄道「近江八幡駅」より近江鉄道バス「小幡町資料館前」下車

箱根町総合観光案内所
お問合せ先 0460-85-5700

近江八幡観光物産協会
<http://www.om18.com/maturi/sagicho.htm>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

大分県 日田市

かゆだめし
米占祭

毎年3月15日
今年は3月15日(水)




全国的にもめずらしい、小豆飯で行う古い神事

日田市の大原八幡宮で「米占祭(かゆだめし)」と呼ばれるこの神事は、国の選択無形民俗文化財です。

2月15日に炊いた小豆飯を、五穀盆と地形盆(直径約40cmの2つの丸盆)に盛り、五穀盆は薄板を放射状に配置して小豆飯を米・麦・粟・豆・稗の5区画に分割し、地形盆では御飯の上に数本の藤蔓(ふじかずら)を使って日田地方の河川の流れを表します。盆は祭事後1ヶ月ほど神前に供え置き、3月15日の午前8時に取り出し、生えたカビの様子から氏子の中の古老等が判定を下し、日田地方の作物や天変地異を占うものであり、鎌倉時代より続く行事です。

一般的な「粥だめし」は小豆粥にて占いますが、小豆飯に生えたカビで占う神事は全国的にもめずらしいとされています。

注:カビはすぐ溶けたり水滴により倒れますので、ご覧になる方は、定時か早めをお勧め致します。

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス 電 車：JR久大本線「日田駅」より徒歩約15分

日田市ホームページ
<https://www.city.hita.oita.jp>

栃木県 那須塩原市

も わら ひやく どう ねん ぶつ まい
百村の百堂念仏舞

毎年4月29日
今年は4月29日(土・祝)




子供たちが受け継ぐ、国の選択無形民俗文化財の念仏舞

百堂念仏舞は念仏踊りの一種で、度重なる火災により記録等が焼失し、起源ははっきりしませんが、江戸時代末期には行われていました。かつてはお盆の時期に、五穀豊穰、家内安全を祈願し、村内の多くのお堂の前で舞を奉納したことからこの名がついたといわれています。

念仏舞の奉納は、光徳寺から出発し、笛の音にあわせて纏を先頭に念仏(梅若)を唱えながら街道を流し、東福寺門前、西の辻と場所を変えて舞を披露したあと、愛宕神社に上り、舞を奉納します。舞は、念仏と笛の音を伴奏に色彩豊かな衣装をまとった警護・形振・鐘木切り・太鼓打ちで上演されます。

大正2年(1913)の上演後、一時中断していましたが、関係者の努力により昭和34年(1959)から翌年にかけて復活し、現在は地元の小学生が受け継ぎ、素朴な舞を演じています。

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス 電 車：JR「那須塩原駅」より車約30分
車：東北自動車道「黒磯板室IC」より板室温泉方面へ約15分
※駐車場は光徳寺の駐車場が利用可能。利用する場合は、光徳寺へ事前申し込みが必要です(0287-69-0839)。

那須塩原市ホームページ
<http://www.city.nasushiobara.lg.jp/>

埼玉県 久喜市

わしのみや さい ばら かがら
鷲宮催馬楽神楽

毎年4月10日ほか、4月15日
今年は 鷲宮神社(鷲宮1丁目):4月10日(月)ほか
鷲宮神社(八甫):4月15日(土)




関東神楽の源流といわれる、舞踊形式を残す神楽

鷲宮催馬楽神楽は、関東神楽の源流といわれ、昭和51年(1976年)の第1回目に重要無形民俗文化財の指定を受けました。正式名称としては「土師一流催馬楽神楽」といいます。

鷲宮神社が、古代に「土師部」の人々が創建し、初めは「土師宮」と称していたとの伝承から、鷲宮催馬楽神楽も「土師一流」の流派名を用いています。催馬楽とは、平安時代に流行した歌謡の一種です。神楽の中で催馬楽を歌うことや、演劇的要素はなく、一種の舞踊劇となっていることなどに特徴があります。曲目の大半が『日本書紀』や『古事記』の神話を題材としており、古くは36座あったといわれていますが、現在は12座とその他の3座があります。

なお鷲宮神社(鷲宮1丁目)では、年6回(1月1日、2月14日、4月10日、7月31日、10月10日、12月初西日)公開しています。

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス 鷲宮神社(鷲宮1丁目)…電車：東武伊勢崎線「鷲宮駅」より徒歩約10分
車：東北自動車道「久喜IC」より車約15分
鷲宮神社(八甫)…電車：JR宇都宮線「東鷲宮駅」より徒歩約30分
車：東北自動車道「久喜IC」より車約20分

久喜市ホームページ http://www.city.kuki.lg.jp/miryoku/rekishi_bunkazai/bunkazai/mukei/kagura/index.html

新潟県 糸魚川市

いと い がわ の う ぶ がく

糸魚川・能生の舞楽

新潟県 糸魚川市

毎年4月

実施日 今年は 天津神社の舞楽:4月10日(月)
白山神社の舞楽:4月24日(月)



芸能史資料としても貴重な、稚児の舞が多く見られる舞楽

糸魚川市内の2つの神社のそれぞれの春季大祭で舞われる舞楽で、国の重要無形民俗文化財に指定、子どもによる演目が多いことから「稚児の舞」とも呼ばれ、親しまれています。どちらも大阪四天王寺舞楽の流れを汲みながらも、当地独得の曲も伝えるなど地域的要素が多く含まれ、中央舞楽にはない味わいがあります。

【糸魚川 天津神社の舞楽】

天津神社春大祭に境内の石舞台で奉納。桜が咲き、衣装も彩り豊かであることから、見る者の目を楽ませます。演目は「鶏冠」「太平楽」「陵王」など12番の舞楽曲があります。舞楽に先立ち、2つの神輿の競り合いが行なわれます。

【能生 白山神社の舞楽】

白山神社は、本殿や所蔵する資料、社叢や生息するセミが国の重要文化財、天然記念物に指定されています。舞楽は春季大祭に境内の池の上に設営する舞台で奉納。演目は「童羅利」「納蘇利」「陵王」など11番の舞楽曲があります。舞楽に先立ち、境内で獅子舞も舞われます。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

天津神社…電車：JR「糸魚川駅」アルプス口(南口)より徒歩5～10分
車：北陸自動車道「糸魚川IC」より車約8分

白山神社…電車：えちごトキめき鉄道「能生駅」より徒歩約20分
車：北陸自動車道「能生IC」より車約5分

天津神社の舞楽 http://www.itoigawa-kanko.net/trad/amatsu_springfestival/
白山神社の舞楽 http://www.itoigawa-kanko.net/trad/nouhukusan_springfestivals/

岐阜県 飛騨市

ふる かわ まつり

古川祭

岐阜県 飛騨市

毎年4月19・20日

実施日 今年は4月19日(水)・20日(木)

島根県 隠岐の島町

ふ せ やま まつ

布施の山祭り

島根県 隠岐の島町

隔年(西暦偶数年)4月上旬

実施日 次回開催は平成30年4月上旬

2016年12月にユネスコの無形文化遺産登録

数百人のさらし姿の男達が付け太鼓と呼ばれる小太鼓を大太鼓の櫓にめがけて突っ込む攻防戦が魅力の「起し太鼓」。江戸からもたらされた屋台が飛騨の匠の技量により高められ、京都のからくり人形が加わることで独自の形となり東西文化融合の結晶と言われる豪華絢爛な屋台が巡行する「屋台曳行」。子供歌舞伎・獅子舞・からくり奉納も魅力的です。

特別金幣社の気多若宮神社からきらびやかに飾られた神輿と共に総勢三百数十人の大行列で進む「御神輿行列」。古川祭は静と動の対照的な表情を持つ神事です。

古川祭は国の重要無形民俗文化財に指定される伝統行事で、古川祭の起し太鼓・屋台行事は2016年12月「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。



アクセス 電車：JR高山本線「飛騨古川駅」より徒歩約5分

飛騨市公式観光サイト
<https://www.hida-kankou.jp/spot/22/article/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

今も成長を続ける大きな杉の木が御神体の山祭り

布施の山祭りは、県指定無形民俗文化財に指定され、隔年(西暦偶数年)の4月初めに行われます。前日に山からカズラを伐り出す「帯裁ち」、大榎を担いで集落を練り歩く「榎まくり」、そのカズラを地区内の大山神社の御神木に巻きつけ、山仕事の安全を祈る「帯締め」などから成る行事です。

帯締め神事では、前日より伐り出したカズラを、『帯締め人』となった若者が木遣り歌に合わせて、神木の前で激しく揺さぶりながら、神木に七回り半巻き締めます。この祭りは、时期的にも山開きの行事と考えられ、享保年間より杉の植林が行われ、近年まで林業が盛んであった布施地区の生業に根ざしています。



アクセス 車：西郷港より車約40分

隠岐の島町ホームページ
<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/www/index.html>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

お ば ま な が お り さ ん び き じ し ま い

福島県 二本松市 **小浜長折の三匹獅子舞** 福島県 二本松市

実施日 隔年5月4日
今年度は5月4日(木・祝)



厳格な当屋制度のもとに行われる三匹獅子舞

上長折の滝洞と、下長折の東方と中洞の三地区に伝えられていた獅子舞で(現在東方と中洞が活動)5月4日の春祭りに、東方と中洞が組になって、隔年で踊っています。

伝来の時期は伝えていませんが、天明三年(1783)の銘がある太鼓が残っており、そのころから行われていました。踊り手は、獅子三名、ささらすり(振りとも)二名で、道化のひょっとこもつきます。

この獅子舞の特色は、ささら竹といて、下部に螺旋状の溝を彫り、上部に造花を百数十本さした丸竹を二本立て、ささらすりが手に持った采配で摺ることです。獅子舞は、県内に数多く継承されていますが、そのなかでもひとときわ勇壮です。

アクセス 電 車：JR東北本線「二本松駅」より福島交通バス木幡・針道方面行き「藤」下車、徒歩約15分または小浜・新殿方面行き「樋の口」下車、徒歩約15分

二本松市ホームページ
<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

地域伝統芸能活用センターよりお知らせ

「2016 ジャパン ベトナム フェスティバル」

2016年11月19日(土)~20日(日)

埼玉県秩父市「秩父屋台獅子保存会」を派遣しました。



メインステージでの公演



秩父市ブースでの来訪者との交流 第2ステージでの公演

当センターが派遣した秩父市「秩父屋台獅子保存会」の力強くリズムカルなタッチの太鼓と鉦、笛の調和、他各出演者による公演が行われ、日越両国相互の伝統・文化の理解等を通じた交流イベントにふさわしいステージが繰り広げられました。



宝くじは、みなさまの豊かな暮らしに役立っています。



点字本レシピ集



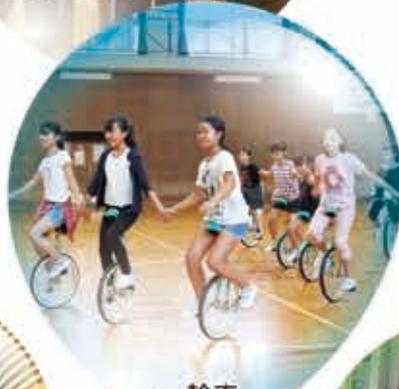
冊子
「フラッグフットボール作戦ブック」



ベンチ



さくらの若木植栽



一輪車



パブリックアート



冊子
「おやこの食育教室
(三角巾付)」



胸部X線検診車



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、
さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<http://jla-takarakuji.or.jp/>

